

研究課題名	院外心停止救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジの構築に関する研究 (JAAM 院外心停止 (OHCA) レジストリー) -病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究-
研究実施機関名 および研究責任者	さいたま赤十字病院 救急科 部長 田口 茂正
研究代表施設 および代表研究者	京都大学 環境安全保健機構 健康科学センター 教授 石見 拓
研究期間	2012年5月28日～2028年5月31日
研究の目的と意義	院外心停止例の搬送先病院の治療体制、搬送後の集中治療内容を包括したコホートを確立し、院外心停止例の社会復帰向上に寄与する適切な搬送先選定基準および治療ストラテジを検討することを目的とする。
本研究の対象となる方	2012年5月28日から2027年5月31日の間に、救急隊が蘇生処置を実施し、当院に搬送された院外心停止の方
提供していただく情報	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本情報登録：性別、年齢、救急隊時刻情報(覚知時刻、病院収容時刻)、適格基準。 2. ウツタイン(病院前救護)記録：救命救急士乗車、医師同乗、普段の生活状態、心肺停止の目撃、発生場所、居合わせた人(バイスタンダー)による心肺蘇生、市民による除細動、救急隊時間経過(覚知時刻、現場到着時刻、患者接触時刻、隊員による心肺蘇生開始時刻、病院収容時刻)、救急隊到着時の状態、救急隊等活動中の医師による2次救命処置、救急隊到着時の最初の心電図波形、除細動、最終気道確保器具、静脈路確保、エピネフリン投与、病院収容前の心拍再開。 3. 病院到着後記録：病院収容時刻、ドクターカー・ヘリ出場、病院収容後の最初の心電図波形、12誘導心電図、中枢温度、身長・体重、病院収容後処置(除細動、気管挿管、体外循環、補助循環、心血管カテーテル検査、心血管ステント留置、低体温療法)、心停止中薬剤使用、患者背景、血液データなど通常の診療範囲内で行う診察や検査の結果、CPAに至った原因、病院搬入後の状態、積極的治療中止の有無とその原因、発症1ヵ月後生存、発症90日後生存、発症1ヵ月後の脳機能、発症90日後の脳機能、入院前および退院後の生活様式に関する情報、退院後の健康関連 QOL。 4. 病院到着から退院(死亡退院も含む)/転院または入院30日までの入院医療費(DPCの E/F ファイル)。
研究内容	多施設共同のコホート研究
個人情報の取り扱い	研究対象者には研究用 ID を割り振り、院内 ID と研究用 ID との対応表を作成する。氏名や生年月日など個人の特定につながる

	<p>情報を削除するなどの匿名化を行い、病院内情報をデータベースに登録する。病院前情報（ウツタイン記録）はすでに消防庁で個人を特定する情報が削除され匿名化されている。研究者は匿名化された情報のみを取り扱い、自施設以外の研究対象者の個人を特定する情報には接触できない。DPCのE/Fファイルは、各施設の医事課などの担当者によって匿名化されたものを事務局へ送付してもらい、データと個人識別情報を連結することはできないように管理する。</p>
<p>問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)</p>	<p>【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 救急科 氏名：人見 秀 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111</p>